

国立研究開発法人 国立循環器病研究センター

臨床検査技師レジデント制度について

【目的】

国立研究開発法人国立循環器病研究センターの臨床検査技師レジデント制度は、わが国における循環器疾患に対する高度専門治療・診断の向上に寄与すべく、その診断の根拠となる臨床検査における知識と技術の啓蒙を推進し、将来、循環器領域における先端的研究や、超音波検査士等の認定資格を有した高度専門職としての臨床検査技師となりうる人材の育成を目的とする。

【概要】

3年間の症例経験を積む期間を確保することにより、循環器疾患の治療・診断に対する生理機能検査の総合的な知識と技術の確実な取得を目指す。

病院臨床検査技師における生理機能検査業務の技術と知識を修得するとともに、循環器疾患に関する検査および研究を行うが、特に、高度先進医療・急性期医療・循環器診断に特化した診療体系など当センターが有する資源を活用し、豊富な症例環境を提供することにより、循環器疾患の診断・治療に不可欠な心臓および血管に係る超音波検査に対する総合的で高度な知識と技術の習得を行う。

また、必要に応じて3年の研修期間において、超音波検査士等の認定資格取得のための支援を実施する。

【教育期間と研修スケジュール】 ※詳細は別紙（教育プログラム）参照

・コース

ベーシックコース、アドバンスコースの2種類を設け、経験・能力に応じて相談のうえ決定する。

また、各検査項目の期間、順番や選択項目についても経験・能力に応じて随時相談のうえ決定する。

ベーシックコース		
1年目	2年目	3年目
<p><u>基本業務の履修</u></p> <p>基本業務の履修を目的とする。各種の心電図検査や運動負荷心電図検査などを行い、心疾患の基本的な検査技術と基礎知識を習得する。</p>	<p><u>臨床業務の履修</u></p> <p>成人・小児心エコー検査を中心とした業務の履修を行う。専門的な検査技術、ならびに先天性心疾患を含む、心疾患全般についての臨床的な知識を習得する。</p>	<p><u>臨床・応用業務の履修</u></p> <p>心エコー検査に加え、血管エコー検査の履修を行う。専門的な検査技術、ならびに血管疾患全般についての臨床的な知識を習得する。集大成として、学会発表・論文投稿を行う。</p>

アドバンスコース		
1年目	2年目	3年目
<p><u>基本・臨床業務の履修</u></p> <p>基本的な知識・技術をすでに習得している場合、心電図検査を復習として履修したあと、心・血管エコー検査を中心とした業務の履修を行う。専門的な検査技術、ならびに心血管疾患全般の臨床的な知識を習得する。</p>	<p><u>臨床業務の履修</u></p> <p>心・血管エコー検査については、より専門的な技術・知識を習得し、特殊エコー検査も履修する。また、学会発表などの学術活動も行う。</p>	<p><u>臨床・応用業務の履修</u></p> <p>今までの心・血管エコー検査に加え、特殊エコー検査の技術・知識を習得する。さらには学会発表、集大成として論文投稿を行う。</p>